

1年生 部落問題学習（その3）

11月13日（水）に部落問題学習の3時間目を行いました。1，2時間目では石川さんが逮捕されるまでの経緯を学習し、2時間目ではなぜ石川さんが自供してしまったのかを学習しました。3時間目では、石川さんが死刑判決を受け、その冤罪を晴らすためにどのように闘ってきたのかを、石川さんの書いた詩や、生い立ちについて語った内容から学習しました。

石川一雄さんが無実を訴える（自分の生命を守る）ためには、「文字を理解すること」が必要不可欠でした。しかし、独房の中で辞書を引いて一つ一つ文字を学んでいくことは、同時に、差別の現実を知っていくということでもありました。そんな中ときにはくじけそうになり学ぶことをやめようとしたこともあったが、石川さんは最後まで学び続けました。

こういった姿を想像しながら、「石川さんすごいなあ」「自分やったら無理やわ」といった声があがりました。また最後に「石川さんってどんな人やるな？」という質問に「いろいろな苦しみを乗り越えられるすごい人」「かっこいい人」「心が強く優しい人」など様々な意見が出ました。また「石川さん無罪になったん？」などの質問も出てきて、次回に向けて興味を持っている生徒もいました。

4時間目は2015年の部落研の劇を見ました。石川さんが逮捕されてから自供に至るまでを劇で振り返りました。先輩たちの演技を興味深く見ていました。途中で「これってどういうこと？」など、疑問を持ちながら見ていました。



（文責：新子）